

川越町社会福祉協議会だより

ふれあいネットワーク



以心伝心

い しん でん しん

第39号

平成23年9月1日現在 人口14,262人 65歳以上人口2,467人 高齢化率17.3%

編集発行 社会福祉法人 川越町社会福祉協議会 〒510-8123 三重県三重郡川越町大字豊田一色314
TEL(059)365-0024 FAX(059)365-2940 E-mail: kawafuku@ccnetmie.ne.jp

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



10月1日から、赤い羽根共同募金運動が実施されます。毎年皆さまにご協力いただいている赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金で、社会福祉施設・団体や社会福祉協議会などに配分され、様々な地域福祉事業に充てられています。

川越町では、ひとり暮らし高齢者交流会、高齢者世帯交流会、身体障がい者交流会、知的障がい者(児)交流会、母子父子家庭交流会、ふれあい祭り、ボランティア育成に取り組んでおります。本年度もどうぞ、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



ひとり暮らし高齢者交流会

高齢者世帯交流会



ふれあい祭



寄附

ご寄附ありがとうございました
次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと川越町社会福祉協議会へご寄附がありました。

平成23年6月1日より平成23年8月31日まで

- 金二〇〇、〇〇〇円 川村 文孝 様
- 金一〇、〇〇〇円 匿名 様
- 金三〇、〇〇〇円 匿名 様
- 金二〇〇、〇〇〇円 寺本 雄治 様

善意の窓口

川越町社会福祉協議会では、皆様の善意をお待ちしております。

こんな時、小さな善意が

- 成人式を迎えられたとき、また就職が決まったときを記念して
 - 結婚が決まったとき、また子どもが生まれたときを記念して
 - 香典返しの一部を
 - バザーなどの催しの収益金の一部を
 - 一円玉を集めて
- 御協力をお願いします。



地区社協及び日赤社員増強運動に対するお礼

本年も5月1日より5月31日までの社協会員増強月間、日赤社員増強月間にたくさんのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

日赤社資は、日本赤十字社を通して国内外における災害救護活動、献血、各種講習会、赤十字奉仕団活動などの事業に活用されます。また、社協会費は福祉資金への積み立てや、皆様がお住まいの地区への配分により、各種福祉活動に役立てさせていただきます。

☆日赤実績表☆

地区名	実績額
当新田	219,000
北福崎	95,000
亀須	32,000
上吉	29,500
亀崎	99,000
南福崎	244,000
豊田一色	241,500
高松	298,500
豊田	309,000
天神	132,000
合計	1,699,500

☆地区社協実績表☆

地区名	個人会費	賛助会費	合計
当新田	131,400	66,000	197,400
北福崎	57,600	66,000	123,600
亀須	19,200	110,000	129,200
上吉	17,700	62,000	79,700
亀崎	79,400	—	79,400
南福崎	146,400	163,000	309,400
豊田一色	150,300	130,000	280,300
高松	176,200	84,000	260,200
豊田	183,700	81,000	264,700
天神	88,400	115,000	203,400
合計	1,050,300	877,000	1,927,300

被災地支援へのご協力ありがとうございました

東日本大震災被災地への義援金にご協力いただき、ありがとうございました。社協へお持ちいただいた方、役場へお持ちいただいた方、また、地区社協を通して各世帯や企業にお願いしましてご協力いただいた方、本当にたくさんの町民の皆様の協力を得ることが出来ました。

社協や役場にお持ちいただいた分につきましては、日本赤十字社及び中央共同募金会に送金いたしました。また、地区社協を通してご協力いただいた分につきましては、岩手県大槌町社会福祉協議会に送金いたしました。

大槌町社会福祉協議会には、三重県社会福祉協議会より県内市町社協に職員派遣の応援要請があり、川越町社協も4月22日から8月21日までの間に、3名の職員を24日間派遣しました。大槌町は、町長、社協会長はじめ町人口の1割近い1,409名の方が亡くなられたり、行方不明であり、津波による被害を大きく受けた町であります。大槌町では復興への取り組みが始まっていますが、その取り組みの困難さや大変さについては、派遣しました職員より報告を受けております。そのため、大槌町の被災者や災害復興のために少しでも役立てることが出来ないかと思い、ご縁が来ました大槌町社会福祉協議会に送金させていただくことにしました。

町民の皆様のお気持ちが届き、大槌町はじめ被災を受けた東北地方各市町が1日でも早く復興しますよう心から祈念いたします。

東日本大震災 義援金

- ・川越町社協 受け取り分 (3月14日～9月9日) 2,071,235円
(日本赤十字社・中央共同募金会へ送金)
- ・川越町役場 受け取り分 (3月14日～9月9日) 3,585,276円
(川越町社協を通して中央共同募金会へ送金)
- ・地区社協より 1,468,000円
(内訳) 社協会員 766,400円 賛助会員 701,600円
(地区社協分1,468,000円に川越町社協自己財源32,000円を加算し1,500,000円を大槌町社会福祉協議会へ送金)



おしえて！川越町社協！

『東日本大震災 被災地支援報告』

総務福祉GL 服部 英史

川越町社協2年目の職員である総務福祉グループ・伊東が、先輩職員の方々に川越町社協の活動や地域福祉活動について教わり、社協の魅力について皆様にもっと知っていただこうというコーナーです。

第1回目の今回は、3月11日に発生しました東日本大震災による被災地支援の為に岩手県大槌町へ派遣されました、総務福祉グループ・服部GL、地域包括グループ・川上GL、居宅支援グループ・佐藤GL、3名の現地での支援活動や様子を報告いただきます。



震災後まもなくの大槌町



大槌町役場

4月22日～29日の期間に岩手県大槌町の復興支援に行っていました。大槌町に行くには、遠野市、釜石市を通って行くわけですが、遠野市に入ったあたりから、公共施設には、数えきれないほどの自衛隊の車が配置されており、被災地に近づいてきたんだなと感じました。釜石市の市街地に入り、しばらくは、平穏な風景が続くのですが、港町に近づき、川に差し掛かった途端、風景が一変し、瓦礫や流された車、船などがいたるところに散乱し、建物1階部分が壊滅の状態でした。釜石をぬけ、大槌に入ると、また風景が少し違い、建物はほとんどなく、瓦礫しかないという光景に、ただただ絶句でした。そのような中でも、1階が浸水したという家もあり、その状態の家が150世帯ほどある地区で、ニーズの聞きとり、ボランティアの派遣を行ってまいることができました。そこでは、自分たちでできることは自分たちでしなければ(自助)という意識が非常に強いと感じました。

また、被災された方々から温かい言葉をたくさん頂戴し、元気づけられ、支援する側の一方的な支援ではなく、支援する側、される側の間にも支えあいがあるんだと感じました。

最後になりますが、被災状況がそれぞれ違うので、一概には言えないですが、町全体として復興に向けて元気を出しているという雰囲気でしたので、それを継続的に支えていく必要があると思います。

地域包括GL 川上 巨康

岩手県釜石市。私は他の社協職員さんとともに大槌町に向かっていました。国道283号線を東に走ったJR釜石駅付近で県社協の職員が言いました。「この先が被災した地域になります」。

直後、にわかには信じ難い光景が目の前に広がりました。駅を超えただけを左折し、大渡橋を渡ってから大槌町まで、その光景は続きました。まちは確かにそこにありました。しかしそれが想像できないほど、津波は何もかも飲み込んでしまっていたのです。

大槌町では、災害ボランティアセンター1沢山支所でボランティアを必要とする



災害ボランティアセンター



高台からの大槌町

方とボランティア希望者をマッチングする業務に就きました。たった6日間の活動。被災地の方々のお役に立てたかどうかは正直分かりませんが、私が得た、感じたことは本当にたくさんありました。その中で特に印象深いことのひとつに「握手」があります。

支援活動が終わるごとに。うまく支援できたときに。そして、別れ際に…。ボランティアさんや各地の社協職員をはじめとする支援者の方々。そして、地元住民さんや社協職員さん。多くの方と握手を交わし、その度に「つながり」を実感しました。大槌町に限らず、復興への道のりはとても長く険しいことと思います。しかし、握手の際の手の温かさや「ありがとう！」「お互いがんばろう！」の言葉に、確かな希望を感じたのもまた事実です。

今回の経験で、川越町社協の大きなテーマである「つながりづくり」の大切さが改めて身に沁みました。社協職員として、個人としての被災地支援を引き続き模索しつつ、それに向けて今後より一層尽力していきたい、そう考えている次第です。

居宅支援GL 佐藤 慎哉

私は8月14日から8月21日まで大槌町災害ボランティアセンターのサテライトで活動をしました。現地では服部さんや川上さん

んと同様でボランティアさんのマッチング業務を行いました。私が派遣された頃にはサテライトが1箇所しか統合された事もあり全国各地からボランティアさんが毎日2、300人来てくれました。震災から5ヶ月が経過していたこともあり、商店やコンビニ、薬局等が営業を再開したり、道路も部分部分では亀裂等もありながらも車も行き来出来ており環境的には復興の兆しも垣間見えましたが、しかし一方では至る所の家屋が流され基礎だけになっていたり、建物の上の家が乗ったままであったり、庁舎等公共の建物等は崩れたままであったりと被害の甚大さを目の当たりにし、自分に何が出来るのか不安を抱えておりましたが、大槌町社協職員の方々の前向きな思い、復興に向けて努力している賢明な姿に支えられながら1週間活動することが出来ました。その中で社協職員・ボランティアさん・町民の方々等色々な所で人々とのつながりがあり、大槌町全体が団結している風を感じるものが出来ました。そのつながりがこそが今後の復興に向けて大切なことであり、つながりがあることで皆が同じ方向性や思いをもって進んでいけるのではと実感し、日々の業務に置き換えても同じことが言えるのではないかと改めて考えることが出来た1週間でした。



ミーティング(大槌町社協にて)



大槌町駅

ことぶき人材センター会員・仕事大募集!!

川越町ことぶき人材センターでは、会員の募集と仕事の募集をしております。詳しくは、下記をご覧ください!

★ 会員募集 ★

60歳以上で働く意欲のある健康な人なら、どなたでも会員になることができます。

入会資格

- ・川越町在住で、60歳以上の方
- ・健康で働く意欲のある方
- ・能力や特技を活かし働きたい方
- ・臨時的・短期的な補助作業を望まれる方
- ・退職前の仕事を活かせる方（例えば、建物の修繕や塗装作業など）
- ・年会費1,200円

★ 企業、ご家庭の方へ ★

町内の企業及び個人の方で臨時的、短期的な仕事を募集しております。

〈こんな仕事をお待ちしています。〉

- イ、除草、植木剪定など一般作業
- ロ、駐車場管理、宿当直などの管理分野
- ハ、会社内外軽作業等
- ・気軽にお電話にてお申し込みください。
- ・当センターが仕事をお引き受けし、責任を持って行います。
- ・公益的、公共的団体なので安心です。

申し込み・詳細はことぶき人材センターまでご連絡ください。

電話 365-0024 携帯 090-9930-5782

川越ふれあい祭2011

11月3日(祝・木)、午前9時より川越町総合センターにおいてふれあい祭りを開催します。当会では、ボランティアの方々の屋台のほか、昨年も好評いただいた昭和レトロ縁日やスタンプラリー、共同募金缶バッチのガチャガチャなど、楽しいイベントを準備中です。その他にも川越町町制50周年を記念した内容盛り沢山の催しがあります。入場無料ですので、たくさんのご来場、お待ちしております。



川越町は今年で町制50周年を迎えました
川越ふれあい祭
2011.11.3(木)
地域に届けようふれあいの聲

- 教育センター 趣味の作品展 開会式後～16:00
- あいあいホール 舞台発表 開会式後～15:00 (観覧) (観覧料あり)
- いきいきセンター 各団コーナー 開会式後～14:30

開会式9:00～

ボランティアのことなら何でも気軽にご相談下さい。

川越町ボランティアセンター
(川越町社会福祉協議会内)
☎365-0024

心配ごと相談
(電話可)

毎月第2・第4水曜日

午後2時～4時

電話(〇五九)三六五-〇〇二四

《第4水曜日は弁護士が相談にあたります。》



家庭での介護等に関する総合的な相談に応じます。

川越町地域包括支援センター

(川越町社会福祉協議会内)

☎365-9999

介護のことで困ったなあと
思ったら迷わず連絡して下さい。